

厳選良問

～ 実体験や日常生活から想像しよう！ ～

分野

医療・心理系分野

出典

介護福祉士試験(第31回-問題69)

問題

問題 乳幼児の標準的な心身の発達に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生後3か月頃、指を使って積み木がつかめるようになる。
- 2 生後6か月頃、つかまり立ちができるようになる。
- 3 1歳頃、喃語(なんご)が現れ始める。
- 4 2歳頃、二語文を話すようになる。
- 5 3歳頃、愛着(アタッチメント(attachment))が形成され始める。

ポイント&解答

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★	★★	★★	★	★★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

乳幼児の心身の発達は、保育士試験ではほぼ確実に出题されているほか、近年では、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士の試験でも出题されるようになってきたので、一度確認しておいた方が良いでしょう。

出題として多いのは、「首すわり」「寝返り」「つかまり立ち」「発語」ですので、他の資格試験の出題内容も確認しながら学習を進めていきましょう。

基本的には、ご自身のお子さんや、周囲の子どもの成長を踏まえて考えると、意外と簡単に解くことができます。しかし、出題内容が全く分からない場合は、「それ以前は全くできなくてもよい」という視点で判断してみると良いでしょう。

選択肢5を例に挙げると、「3歳頃、愛着が形成され始める=3歳まで、母親などとの愛着は形成されない」というように変換でき、「なんで泣いている赤子が、母親に抱っこされると泣き止むんだっけ?」といったことを連想できれば、「×」であると判断できるはずです。子どもが3歳まで愛着を示さない子育てって、かなりつらいですよ。。。

解答

4

